



市政、ここがポイント！ そこが知りたい！

一般質問（要旨）

一般質問は、定例会で、議員が議案に関係なく市政全般について、市の方針をただすものです。三月定例会では、十二日、十三日、十六日の三日間、次の十八人の議員により行われました。

数多くの質問の中から、一議員につき一項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。

なお、答弁文末の（ ）内は、主な所管課です。

新型インフルエンザ パンデミック対策について

松本 富男 議員

問 ①本市の市民への啓発活動②危機管理としての本市の取り組み③教育委員会の取り組みについて、それぞれ伺いたい。

答 ①いたずらに危機感をあおることのないよう十分配慮し、発生前、発生後の市民としてできる対策などを啓発していきたい。②現在までに、経営戦略会議において知識を深めるとともに、本年二月、課長級職による「新型インフルエンザパンデミック対策庁内連絡会議」を立ち上げた。今後とも、国や県の動向を注視しながら有事の際には、全庁あげてその対策に取り組みめるよう普段から十分な連携強化を図っていきたい。③各

学校へ、「文部科学省行動計画」

や、「埼玉県行動計画」、「新型インフルエンザ予防マニュアル」、「高病原性インフルエンザと学校飼育鶏」等の冊子を配付し、インフルエンザに対する日常の心構えや、鳥や小動物の扱い等について指導を行っている。今後も、文部科学省や県教育委員会、熊谷市医師会の指導を仰ぎながら対応していきたい。（健康づくり課）

○その他の質問項目

「ネットいじめについて」ほか

定額給付金とプレミアム付 商品券の発行について

三浦 和一 議員

問 ①定額給付金の給付計画について、また、プレミアム付商品券の②販売予定時期③販売場所④購入に係る制限⑤市民に対する周知に

ついて、それぞれ伺いたい。

答 ①給付対象者は約二十万六千人であり、三月三十日に約八万千六百人の世帯主の方に申請書を発送する予定である。申請の受付期間は四月六日から十月六日までの六カ月間、給付の開始日は四月二十七日を予定している。

②商品券の販売は、五月十五日から開始し、利用期間は八月三十一日までである。③熊谷商工会議所および三商工会の四つの事務所であり、四カ所で同時販売する。④市内、市外を問わず、どなたでも一人十冊まで購入できる。⑤今月予定されている定額給付金にかかる通知にプレミアム付商品券についてのチラシを同封するとともに、新聞折り込みや市の広報紙など、様々な手段で利用可能な店舗や事業所、販売場所などをお知らせするとともに、のぼり旗やポスターなどでムードを盛り上げていきたい。（産業振興課）

○その他の質問項目

「子育て応援特別手当について」ほか

熊谷市の 農業活性化策について

森 新一 議員

問 ①熊谷市産野菜、米、小麦のブランド化について②農業資材の高騰対策③農産物価格低迷の対策について、それぞれ伺いたい。



めめま物産センター

答 ①平成十九年農林水産物のうち収穫量が県内第一位は小麦、にんじん、やまといもで、米は第三位となっている。これらの評価を高めるため、安心安全な生産工程管理の推進、水稲種子の更新に対する補助や、妻沼地区のやまといも、ネギなどの海外輸出への取り組みに対する支援等を行っている。②畜産の飼料としては自給飼